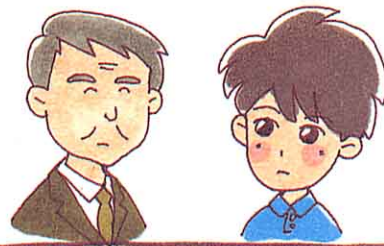


～江戸時代のさいご～

白河のどのさまの命令で
信州（今の長野県）の人々
によって開こんされた。



しかし、ぼしん戦争に
あい、もとの原野にも
どってしまったんだ。



～20年後（約110年前）～



明治22年1月、西郷村の一番寒い
時期に、約3週間用水ぼりの工事が
行われたんだ。はたらいたのは白河
かんごく所のしゅうじんたちだよ。

「赤ばんこぼり」
しゅうじんたちが
赤い着物を着ていた
ので「赤ばんこぼ
り」とよばれた。